

福祉入門講座（久留米市社協共催）

筑後地区福祉人材バンク

●事業の目的

中・高・専門学校生等を対象として、社会福祉に関する理解と関心を高めるとともに新たな福祉人材の育成を図る。

●事業の主な特徴と内容

筑後地区の域内にある福祉科を持つ高校または福祉に興味を持つ高校を対象として講座を開催しています。

大きくは本講座(基礎講座)で福祉関連職場の魅力・やりがいについて、テーマ別講座では、具体的なテーマに合わせて講話・演習・体験等を交えながら行っていきます。

●事業実施による主な成果、効果（令和5年度）

受講生徒の感想文等は好評価で、リピート開催される学校が多いです。

- ・開催期間 令和5年6月～令和6年3月
- ・講座回数 11講座（6校11講座）
- ・参加者数 386人

●バンクよりのメッセージ

身近にある福祉のある社会について知ることは、未来の社会をのぞく窓です。

福祉科の高校生だけでなく、一般の高校生にもぜひ参加してほしい講座です。

●開催高校（令和5年度）

県立大川樟風高校

県立ありあけ新世高校（3講座）

久留米学園高校（2講座）

杉森高校

大牟田高校

柳川高校（3講座）

▶ 福祉入門講座の受講生徒感想文（抜粋）



福祉とは、何なのかよく分かりました。そして、福祉は介護士1人だけでなくたくさんの職種の方達がチームを作って一人の方を支えると聞いて驚きました。福祉のしごとは命の質を輝かせる仕事と聞いて、本当にすごい職業だと思いました。

私も福祉系の仕事に就きたいので、たくさん勉強して中国先生のように毎日ワクワクしながら仕事ができるようにがんばりたいです。

大川樟風高校 2年



あらためて福祉は良い仕事なんだと感じました。私は、介護士に興味があり、みんなを笑顔にさせて、毎日を幸せにできる介護士になりたいと思いました。

今回話を聞いて、スゴクためになる話ばかりでとてもうれしかったです。心に残った社会で生きてゆくことを諦めないという言葉に胸に、たくさん挑戦し諦めずがんばりたいと思いました。

久留米学園高校 3年



障がいをとくべつなものと認識せず、一人一人の個性と捉えることで皆が生きやすい世界になるのかなと思いました。自分から見た景色だけでは、分からないことがたくさんある。

手話の話を聞いて、また手話を始めたいと思いました。耳の聞こえない人とも話してみたいです。

杉森高校 2年

